兵庫県立芸術文化センタープロデュース

トラックが着かない!

【作・演出】土田英生

誰のせいでこうなった?
一癖も二癖もある登場人物が織りなす
笑いと哀愁の劇場コメディ!

あらすじ 自称アーティスト・臥龍(がりゅう)が、有名芸能人・高嶺(たかみね)レイナと「誰も見たことのないパフォーマンスを作ろう!」というプロジェクトを立ち上げた。約800名の応募者から、オーディションで選ばれた7名のメンバーたち。稽古を経て公演に向けて劇場入りしたが、舞台セットを積んだトラックが来ない!仕方なく楽屋でトラックを待つ間、皆の不満が噴出して…。

ー登場人物紹介ー



有名女性芸能人役って…
企画書の配役欄に、女優役でも歌手役というのでもなく、有名芸能人役→南野陽子って書かれていました。もう、このひびき…なんか滑稽でカッコ悪くてクセありそうで…。気に入ってしまいました!芸文で土田さんとご一緒させていただくのは3回目。全信頼を置き、楽しみでなりません。そして出身地兵庫県でお芝居が出来ること、大変幸せに感じています。年末のお忙しいときですが、是非観劇にいらしてください!
南野陽子

高嶺(たかみね)レイナ(南野陽子)
プロジェクトの代表。とにかく有名人。



臥龍(がりゅう)(福田転球)
自称、アーティスト。構成、振付、演出など全てを担当。



辺見(へんみ)さゆり(吉田真知子)
制作も担当させられている出演者。

門倉誠司(かどくらせいじ)(竹内宏樹)
出演者。トラックを知り合いに頼んだが、ドライバーと連絡がとれず困っている。

橋爪幸雄(はしづめゆきお)(まえかつと)
海外で活躍していたと自分で言っているダンサー。ヨーロッパでスカウトされまくったらしい。

夕凪充子(ゆうなぎみつこ)(岡部尚子)
自称、ベテランダンサー。臥龍と仲が悪い。

沼袋美礼(ぬまぶくろみれい)(東千紗都)
高嶺レイナのマネージャー。

納屋橋雅彦(なやばしまさひこ)(大石英史)
劇場の職員。稗田の同級生。

徳永孝二郎(とくながこうじろう)(高阪勝之)
"自分はデキる"と思っているダンサー。

黒木茂助(くろきしげすけ)(金替康博)
出演者。舞台監督の補佐をさせられている。高嶺レイナの長年のファン。

稗田寧々(ひえだねね)(松原由希子)
出演者。劇場の職員である納屋橋の同級生。咄嗟に嘘がつけないタイプ。

見どころ満載!作品の魅力解説は裏面へ

2026.12/26(土) 27(日) 各日2:00PM開演　兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

[ご予約・お問合せ] 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM~5:00PM／月曜休み※祝日の場合翌日)

兵庫県立芸術文化センタープロデュース

「トラックが着かない！」NEWS



土田英生
（劇作家・演出家・俳優／MONO代表）

この冬、兵庫県立芸術文化センターがお届けする演劇作品「トラックが着かない！」。作品の舞台となるのは劇場のバックステージ！公演直前の楽屋で繰り広げられる群像コメディです。作品の魅力をわかりやすく解説します！

「トラックが着かない！」を見逃せない理由

❶ 人気劇作家、**土田英生の新作書き下ろし**

❷ **舞台は“劇場”！** 本番前に**トラブル続出!?** 果たして幕は開くのか？

❸ **南野陽子が“有名芸能人”役！？**
大ベテラン・**福田転球**ほか関西実力派俳優たちが演じる**“クセ強”な人々**

登場人物紹介は裏面へ！

土田英生コメディーの魅力
～人と集団を見つめる目

畑 律江（毎日新聞客員編集委員、大阪芸術大学短期大学部客員教授）

ただ面白いだけじゃない。**軽妙な会話劇で知られる劇作家**、土田英生は、人間の言葉と行動をコミカルに描きつつ、その向こう側に社会の深淵をちらりとのぞかせる。

土田は、幅広い世代に支持される京都の人気劇団「MONO」の代表。兵庫県立芸術文化センターとの協働は、神戸の詩人、竹中郁の詩を織り込んだ**朗読劇『アネト』**（2022年）、港に流れた時間をオムニバス形式で見せた**『神戸の湊、千年の交々』**（2024年）に続き**『トラックが着かない！』**で3作目。

土田作品はたいてい、家族や集団内での何気ない会話から始まる。だが背景はいつもリアルな現代日本だとは限らない。外国の戦場だったり（『その鉄塔に男たちはいるという』）、弥生時代の集落だったり（『裸に勾玉』）、17世紀タイの日本人町だったり（『アユタヤ』）



朗読劇「アネト」　撮影:飯島隆



「神戸の湊、千年の交々」　撮影:飯島隆



MONO第43回公演「裸に勾玉」　撮影:谷古宇正彦

もする。設定がどんなに奇想天外でも、根底にはいつも、人と集団との関係を見つめるシャープな眼差しがある。

舞台には、ある種の偏りや弱点を持つ人々がよく登場する。「自分は忘れられている」と悩む人、謝れない人、デマに陥る人……。人々が巻き起こす騒動は実に面白いが、何だか身につまされる。そしてそこに、社会的分断や同調圧力といった今日的課題が潜んでいることに気付く。

だが土田作品は、そればかりでなく、人と人、人と集団とのいい関係の扉を開く「鍵」をも潜ませているのではないか。私はそんな思いを抱いて、それら作品群に向き合ってきた。**今回の新作はバックステージもの。作者が活動の軸にしてきた劇場が舞台になる**のが楽しいし、関西ゆかりの魅力的な俳優陣にも胸が弾む。私たちの街の劇場が人々を新たな発見に導く「鍵」になるように――。そう願っている。

兵庫県立芸術文化センタープロデュース

「トラックが着かない！」

【作・演出】土田英生
【出演】南野陽子、福田転球、金替康博、岡部尚子、大石英史、高阪勝之
竹内宏樹、東千紗都、まえかつと、松原由希子、吉田真知子

好評発売中！

2026. **12/26（土） 27（日）** 各日2:00PM開演（1:30PM開場）　**兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール**

一般 5,000円　U-25 2,500円（全席指定・税込）　※U-25チケットは観劇日当日25歳以下の方対象。入場時、生年月日の分かる身分証明書をご提示ください。

【ご予約・お問合せ】芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255［10:00AM～5:00PM／月曜休み※祝日の場合翌日］

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター　企画製作：兵庫県立芸術文化センター
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）｜独立行政法人日本芸術文化振興会

文化庁

兵庫県立芸術文化センター